



学びにくさを持つ子供たちの

“中学・高校選び”を考えるシンポジウム

特別な支援を必要とする生徒の、中学進学、高校進学には多くのハードルが存在すると言われます。情報量が少ないのに加え、情報の偏りが見られ、入学後にミスマッチが発生することも少なくありません。発達障害、自閉症スペクトラムといわれる生徒達が思春期に入ると、心理支援やライフスキル支援などの重要性も増してきます。中学進学に際して当事者の困り感、保護者の悩み、迷いを浮き彫りにし、どのような選択肢があるのか、あるいはどのような選択肢を思い描く事が有効か、可能か、参加者と一緒に考えてまいります。

東京・特別支援連携機構・感動 KANDOとは：

『民間主導による都内児童生徒特別支援連携サポートネットワーク』であり、民間の発達支援機関と発達障害当事者の保護者支援の団体や学校が連携し合い、思春期の子供達の療育、学業支援、就労観の育成などでつながり合い、寄り添い、連携し合うことを通して、当事者の学び場、居場所、自我・自己実現の達成につなげていくことを目的とする任意団体です。

基調講演：本田秀夫

日時：11月3日(祝) 13:00 会場受付 13:30 開始 16:00 終了

会場：品川区立中小企業センター 大会議室

住所：品川区西品川 1-28-3 電話：03-3787-3041

東急大井町線「下神名(しもしんめい)」駅徒歩2分

JR線・東急線・りんかい線「大井町」駅徒歩10分

参加費：一般 1,000円 ポスターセッション希望者は(追加) 2,000円

定員：96名(先着順です)

プログラム

13:40-14:20 基調講演

「特別なニーズを持つ生徒の、進学にあたって考えておきたい事」

本田秀夫 (ネスト・ジャパン代表; 発達精神科医師)

14:20-14:40 休憩 (中学/高校のポスターセッション、当ネットワーク会員各団体のポスターセッションも)

14:45-15:45 パネル・ディスカッション

タイトル「発達障害者にとっての進路探し、進学とは」

パネラー：ネストジャパン 代表理事 本田秀夫、発達支援教室 ホームミーズ 副理事長 合田康志、教育サポートセンターNIRE 代表 中塚史行、NPO 法人パルレ 代表 坪井久美子、フリージャーナリスト 滝田誠一郎

進行/日野公三(NPO 日本ホームスクール支援協会理事長、明蓬館高等学校理事長)

15:45-16:15 ポスターセッション

<事務局>NPO 日本ホームスクール支援協会

〒141-0001 東京都品川区北品川 5-12-4 山泉ビル 2F

TEL: 03-3449-7904 / FAX: 03-5423-2813 / e-mail: info@homeschool.ne.jp 担当: 新田

お申込方法: 下記お申込書を FAX して頂くか、日本ホームスクール支援協会【03-3446-2541】までお電話ください、お申込お待ちしております。



◇プロフィール◇

本田秀夫 (ネスト・ジャパン代表; 発達精神科医師)。本田氏は、東京大学医学部卒。横浜市総合リハビリテーションセンターで約20年にわたって発達障害の人たちと家族の支援に従事。2009年4月から2010年8月まで横浜市西部地域療育センター長を兼務。発達障害に関する学術論文多数。2002年より、英国で発行されている自閉症の学術専門誌 “Autism” の編集委員。横浜市および杉並区の教育委員会で特別支援教育関連の業務にも従事。山梨大学非常勤講師、日本児童青年精神医学会評議員。2011年4月より山梨県立こころの発達総合支援センター所長。発達障害の児童、青年およびその家族の仲間づくりと活動拠点づくりの支援のため、NPO ネストジャパン設立

11月3日(祝日) シンポジウムお申込書 <FAX: 03-5423-2813>

氏名	所属先名	参加人数	名
住所 〒	TEL		
FAX	E-MAIL		